

様式第2号（第6条関係）（用紙 日本工業規格A4縦型）

温室効果ガス排出削減報告書

本浜岡発第432号
平成22年 6月15日

静岡県知事 川勝 平太 様

住所 愛知県名古屋市東区東新町1番地

中部電力株式会社
氏名 代表取締役社長 三田 敏雄
社長執行役員

静岡県地球温暖化防止条例第13条の規定により、次のとおり提出します。

特定事業者	氏名 (名称及び代表者の氏名)	中部電力株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 三田 敏雄
	住所 (主たる事務所の所在地)	〒461-8680 愛知県名古屋市東区東新町1番地 (電話番号052-951-8211 (代表))
事業所	名称	中部電力株式会社 浜岡原子力発電所
	所在地	〒437-1695 静岡県御前崎市佐倉5561番地 (電話番号0537-85-2367)
該当する事業者要件	静岡県地球温暖化防止条例施行規則第3条 <input checked="" type="checkbox"/> 第1号 <input type="checkbox"/> 第2号 (県内事業所数 事業所) <input type="checkbox"/> 第3号 (自動車保有台数 台) <input type="checkbox"/> 第4号 (該当する温室効果ガスの種類)	
事業所において行われる事業	33 電気業	
計画の内容	別紙のとおり	

(注)

- 1 静岡県地球温暖化防止条例施行規則第3条第1号又は第4号に該当する事業者は、対象となる事業所ごとに提出すること。
- 2 該当する□にレ印を記入すること。

(別紙)

実施年度		平成21年度				
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施した措置		1. 浜岡 1, 2号機補助ボイラーについて、使用しない負荷設備への蒸気通気停止運用を実施した。 2. 浜岡 5号機のタービンに新型翼を据え付けた。(次回起動時は、1267MWから1380MWに復旧する。)				
温室効果ガスの排出の量の削減実績	区分	基準年度 (平成18)年度	目標年度 (平成22)年度	対基準年度比 (%)	実施年度 (平成21)年度	対基準年度比 (実績) (%)
	<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス 排出量 A	(二酸化炭素換算 (t)) 13600 t-CO2	(二酸化炭素換算 (t)) 15000 t-CO2	110.3	(二酸化炭素換算 (t)) 52560 t-CO2	386.5
	<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B					
	<input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 B	()	()		()	
(摘要) 平成21年度は、浜岡 4, 5号機が設備故障のため計画どおり運転できず、その後、浜岡 3号機が定期点検に入ったことから、発電所が全停する期間が14日間あった。 また、浜岡 3号機が定期点検中の8月11日に、駿河湾の地震が発生し、運転中であった浜岡 4, 5号機が停止したため、再度、発電所が全停する期間が38日間あった。 このため、発電所内で使用する化石燃料起源の電気使用量が増加した。						
特記事項	①浜岡 1, 2号機の消灯可能エリアの夜間消灯を実施 ②屋内開閉所照明の減灯を実施 ③浜岡 1, 2号機重油使用量低減のため、補助ボイラー稼働台数の減台運用を実施 ④浜岡 5号機は冬場に停止していたが、空調に対し原子炉の残熱を効率的に利用した結果、浜岡 5号機における重油使用量を抑制した。					

備考

- 「基準年度」欄、「目標年度」欄及び「対基準年度比」欄には、温室効果ガス排出削減計画書(当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の温室効果ガス排出削減計画書)に記入した数値を転記すること。
- 「摘要」には、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加した理由(計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できなかった理由等を含む。)を記入すること。
- 「特記事項」欄には、「事業活動に伴う温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施した措置」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。